銀河レポート401

NO.20
1月号

発行日：平成29年1月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html

１月の星空

オリオン座

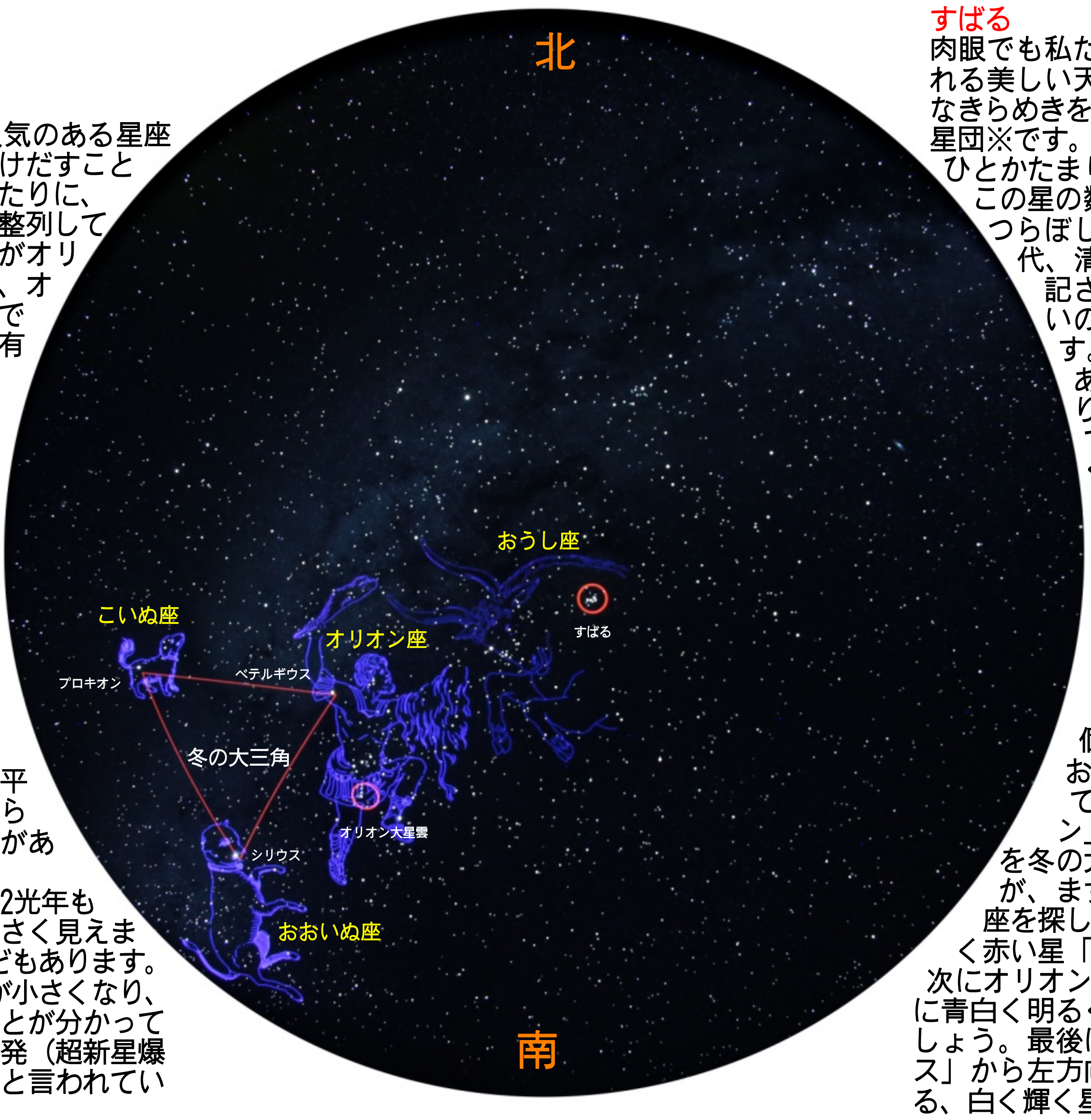
オリオン座は星座の中でも、人気のある星座の一つで、冬の空にすぐに見つけだすことができます。オリオンの腰のあたりに、同じくらいの明るさの三ツ星が整列しており、その周りを囲む四つの星がオリオンの体になっています。また、オリオン座は肉眼でも見ることができる星雲（※）があることでも有名で、三ツ星の下あたりに赤く光るオリオン大星雲を見つけることができます。ギリシャ神話では、オリオンは少々乱暴なところがありますが、狩りの名人として描かれています。また、長身の美男子で恋の物語もいくつか残されています。

※星雲…輝いた雲のように見える天体。大部分がガス状の物質で、できている。

ベテルギウス

ベテルギウスはオリオン座の赤く輝く１等星です。日本では、平家の旗の色が赤色であることから「平家星」などと呼ばれることがあります。

このベテルギウスは地球から642光年も離れているので、地球からは小さく見えますが、直径は太陽の約1000倍ほどもあります。しかし最近の観測で、その直径が小さくなり、形もいびつになってきていることが分かっています。これは近い将来、大爆発（超新星爆発）を起こす兆候かもしれないと言われています。



GINGA PORT401内で撮影

すばる

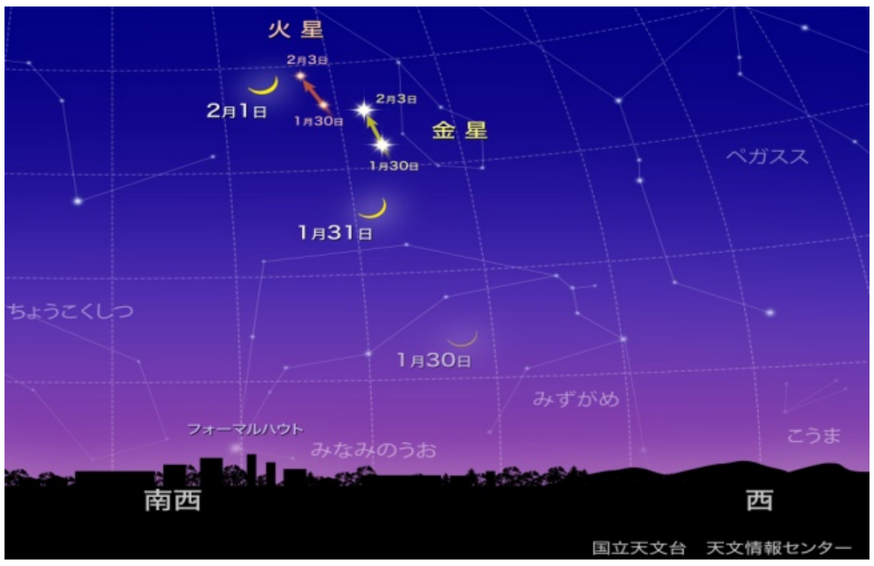
肉眼でも私たちの目を十分に楽しませてくれる美しい天体で、まとまりのある華やかなきらめきを見せてくれる散開（さんかい）星団※です。肉眼では6個から7個の星がひとかたまりになっているのが見えます。この星の数から日本では「六連星」（むつらぼし）と呼ばれています。平安時代、清少納言が書いた「枕草子」に記されていて、星の中で最も美しいのが「すばる」とたたえています。表面温度が1万5000度以上もある超高温で青白い色をしており、かなりのエネルギーを使っているため、１億年ほどしか輝くことができない、星の世界では短命な星たちの集まりです。

※散開星団…数百個程度の星がまばらに不規則に集まっている星団（星の集まり）

冬の大三角

冬の南の空に輝くオリオン座の1等星「ベテルギウス」、21個ある1等星の中で、一番明るいおおいぬ座の「シリウス」、そして、こいぬ座の1等星「プロキオン」、この三つの星が作る三角形を冬の大三角と言います。探し方ですが、まずは冬の代表的な星座オリオン座を探しましょう。見つけたら左上に輝く赤い星「ベテルギウス」を確認します。次にオリオンの腰の部分にある三ツ星の左下に青白く明るく輝く星「シリウス」を探しましょう。最後に「ベテルギウス」と「シリウス」から左方向に正三角形が結べる位置にある、白く輝く星が「プロキオン」です。

月と金星・火星の共演を楽しもう！



今、金星が徐々に高度を上げながら明るさを増し、ひときわ目を引いています。また、その左上には赤く輝く火星が見えています。宵の西空で金星と火星が仲良く並んでいます。

そんな火星と金星に、1月31日と2月1日、三日月後の月が接近し、美しい眺めとなります。

月と金星・火星の共演を是非お楽しみください。

1月ガリレオ教室のお知らせ

〈宇宙空間のひみつ〉

空気のない世界とはどのような世界なのか。宇宙服がないと宇宙飛行士はどうなってしまうのか。不思議な宇宙の世界について、天文ボランティアが分かりやすく解説します。

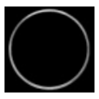
日時：1月8日（日）
①11：00から11：20
②14：00から14：20
場所：５階コズミックラウンジ
※ 当日の自由参加・ 参加無料

★★観望会★★

《博物館主催きらら号観望会》
日時：1月28日（土）
時間：18時から19時30分
場所：市民公園
内容：金星と火星とすばるを見よう
※天候不順時は中止です。
※当日の自由参加です。

《天文ボランティア主催観望会》
日時：1月21日（土）
時間：18時から19時30分
場所： 市民公園
内容：金星と火星とすばるを見よう
※きらら号は出動しません。
※天候不順時は中止です。

1月の月

6日		上弦
12日		満月
20日		下弦
28日		新月

編集後記

あけましておめでとうございます。2017年がいよいよスタートしました。今年も博物館プラネタリウムでは、様々な催し物を企画して皆様のご参加をお待ちしております。本年もよろしくお願いいたします。さて、夜空には東の空から冬の大三角形が現れて見ごろとなっています。寒さもこれから本番となってきますが、暖かくして星空をご覧ください。